

BR 700

STIHL



2 - 16 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	2
4	安全に関する重要事項.....	3
5	ブロワーの運転のための準備.....	7
6	ブロワーの組み立て.....	7
7	使用者に合わせたブロワーの調整.....	8
8	燃料の混合とブロワーへの給油.....	9
9	エンジンの始動と停止.....	10
10	ブロワーの点検.....	11
11	ブロワーの運転.....	11
12	作業後.....	12
13	運搬.....	12
14	保管.....	12
15	清掃.....	13
16	整備.....	13
17	修理.....	13
18	トラブルシューティング.....	13
19	技術仕様.....	15
20	スペアパーツおよびアクセサリ.....	15
21	廃棄.....	15
22	EC 適合証明書.....	15
23	UKCA 適合宣言.....	16

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。

Dr. Nikolaas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 本書内の警告表示

警告

- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

注記

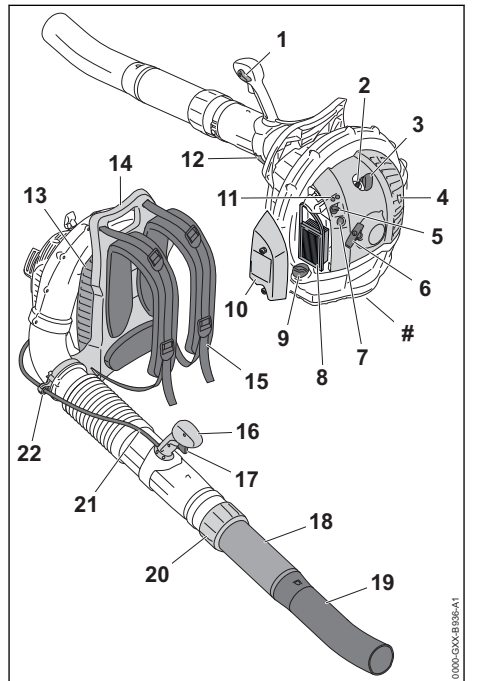
- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

2.2 本文中の記号

この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 ブロワーブロワー



- 1 **マスターコントロールレバー**
マスターコントロールレバーは、エンジンの操作と停止に使用されます。マスターコントロールレバーはスロットルをロックするために使用されます。
- 2 **スパークプラグ**
エンジン内の混合気に点火します。
- 3 **スパークプラグターミナル**
イグニッションリードをスパークプラグに接続します。
- 4 **マフラー**
マフラーはブロワーの音の放出を減らします。
- 5 **チョークレバー**
チョークレバーは、開始手順を設定するために使用されます。
- 6 **スターターグリップ**
エンジンのクランクキング用。
- 7 **手動燃料ポンプ**
手動燃料ポンプはエンジン始動を容易にします。
- 8 **エアフィルター**
エンジン吸気を濾過します。
- 9 **燃料タンクキャップ**
燃料タンクの蓋。
- 10 **フィルターカバー**
エアフィルター用カバー
- 11 **キャブレター調整スクリュー**
キャブレターの調整用。
- 12 **クイックリリースス克蘭プ**
クイックリリースス克蘭プは、コントロールハンドルをロックします。
- 13 **シールド**
シールドは、ブロワー内部の可動部品からオペレーターを保護します。
- 14 **ハンドル**
ハンドルはブロワーを運ぶのに役立ちます。
- 15 **ストラップ/ハーネス**
キャリングストラップは、ブロワーの重量を肩と背中に分散させます。
- 16 **コントロールハンドル**
コントロールハンドルは、ブロワーの操作とガイドに使用されます。
- 17 **スロットルトリガー**
エンジン回転数を制御します。
- 18 **ブロワー チューブ**
ブロワーチューブは、噴気を導きます。
- 19 **ノズル**
ノズルは噴気を導き、制御します。

20 ユニオンナット

ユニオンナットは、ブローパイプの長さを調整するために使用されます。

21 スロットルケーブル

スロットルケーブルはスロットルトリガーをエンジンに接続します。

22 スロットルケーブルリテーナー

スロットルケーブルリテーナーはスロットルケーブルを所定の位置に固定します。

機械番号付き銘板

3.2 記号

ブロワーに表示されている記号の意味：



製品の騒音を比較する目的に使用可能な、指令 2000/14/EC に基づく dB(A) 単位の音響出力レベル保証値。



この記号は、燃料タンクを示しています。



この記号は、手動燃料ポンプを示しています。



エンジン作動時、スライドコントロールレバーはこの位置にあります。



スライドコントロールをこの位置に合わせると、エンジンが停止します。



エンジンは、ギアシフトレバーがこの位置のときに始動します。



ギアシフトレバーがこの位置のときは、エンジンは始動準備状態になります。



シャッターは、この位置では冬季モードに設定されています。



シャッターは、この位置では夏季モードに設定されています。



本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

4 安全に関する重要事項

4.1 警告記号

ブロワー上の警告標示の意味：



安全上の注意事項を順守し、必要な予防措置を講じてください。



取扱説明書をよく読み、理解し、保管してください。



保護メガネとイヤープロテクターを着用してください。



飛散物に関する安全面での助言に従い、関連する安全策を講じてください。



排気ガスは吸い込まないでください。



ブロワーに引き込まれないよう、長髪は結んでまとめてください。



安全な距離を維持してください。

4.2 用途

ブロワー STIHL BGA 700 は、葉、草、紙などを噴気で清掃する目的に設計されています。

▲ 警告

- ブロワーを設計されていない目的で使用する、重傷または致命傷を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。
 - ▶ ブロワーは必ず本取扱説明書に従って使用してください。

4.3 使用者が満たすべき条件

▲ 警告

- 指導を受けていない使用者は、ブロワーの使用に伴う危険の認識や認知ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 取扱説明書をよく読み、理解し、保管してください。

- ▶ ブロワーを譲渡する場合、必ず本取扱説明書と一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
 - 十分な休息を取っている。
 - ブロワーを使用するために適切な身体的および精神的状態にある。身体的、感覚的または精神的な能力に限界があるために本機を使用できない使用者は、責任者の監督下または責任者からの指導を受けた上でのみ本機を使用することができます。
 - 使用者はブロワーの使用に伴う危険を認識し、認知することができる。
 - 成人に達しているか、国の規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
 - 使用者は、初めてブロワーを使用する前に STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けた。

– アルコール類、薬剤、または麻薬などの影響を受けていない。

- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。
- ブロワーのイグニッションシステムは、電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 使用者がペースメーカーを着用している場合、ペースメーカーが影響を受けないことを確認してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 長髪は、作業中にブロワーに引き込まれるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



▶ ブロワーに吸い込まれないよう、長髪は結び、肩の上でまとめてください。

- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。European Standard(欧州基準) EN 166 または日本の基準に従って試験され、認証マークの付いた適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ 長ズボンを着用してください。
- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。



▶ イヤープロテクターを着用してください。

- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は木々、茂み、ブロワーにからまるおそれがあります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
 - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作り、足が露出しない靴を着用してください。

4.5 作業エリアと周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、ブローアまたは飛散物の危険を認識していないだけでなく、そうした危険を認知できません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 15m の範囲内に入らせないでください。

- ▶ 器物から 15m の間隔を維持してください。
- ▶ ブローアを無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供がブローアで遊ばないように注意してください。
- エンジン作動中はマフラーから高温の排気ガスが排出されます。高温の排気ガスによって可燃物が引火し、火災が生じるおそれがあります。
 - ▶ 排気ガスは可燃物から十分に離してください。

4.6 安全に関する条件

以下の条件が満たされていれば、ブローアは安全な状態にあります：

- ブローアが損傷していない。
- ブローアが清潔な状態になっている。
- ブローアから燃料が漏れていない。
- 燃料タンクキャップが密閉されている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- 摩耗限界を超えていない。
- STIHL 純正アクセサリが装着されている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなり、安全装置が働かなくなり、燃料が漏れ出すおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 損傷したブローアは絶対に使用しないでください。
 - ▶ ブローアから燃料が漏れている場合は、ブローアを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
 - ▶ 燃料タンクキャップを閉めます。
 - ▶ ブローアが汚れた場合、ブローアを清掃します。
 - ▶ 操作部が正常に作動しない場合、ブローアを使用しないでください。
 - ▶ このブローアモデル用に設計された STIHL 純正アクセサリに適合します。
 - ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に従って装着してください。

- ▶ 送風機の開口部に物を差し込まないでください。
- ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.7 混合燃料と給油

▲ 警告

- 本ブローアにはガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料が必要です。混合燃料とガソリンは、可燃性が極めて高い液体です。混合燃料またはガソリンが裸火や高温の物体に触れると、火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 混合燃料とガソリンは、熱源や炎から保護してください。
 - ▶ 混合燃料やガソリンは、こぼさないでください。
 - ▶ 燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、ブローアの全部品とその周辺部が乾くまではエンジンを始動しないでください。
 - ▶ 喫煙しないでください。
 - ▶ 火気の近くでは給油しないでください。
 - ▶ 必ずエンジンを切り、冷ましてから、燃料を給油してください。
 - ▶ 給油場所から 3m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。
- 燃料/ガソリンの気化ガスには毒性があります。
 - ▶ 燃料/ガソリンの気化ガスは吸い込まないでください。
 - ▶ 換気の良い場所で給油してください。
- 作業中、ブローアは高温になります。燃料が膨張し、タンク内の圧力が高まります。燃料タンクキャップを開けると、霧状の燃料が吹き出すおそれがあります。漏れ出た燃料は、引火するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ブローアを冷ましてからタンクキャップを慎重に開けてください。
- 燃料やガソリンが付着した衣服は、引火しやすくなります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 衣服に燃料またはガソリンが付着したときは：着替えてください。
- 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、環境に有害です。
 - ▶ 燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは、こぼさないでください。
 - ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、地域の規制と環境要件に従って処分してください。

- 皮膚に付着するか、目に入ると、混合燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは炎症を引き起こすことがあります。
 - ▶ 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルには触れないでください。
 - ▶ 皮膚に付着したときは、大量の水と石鹸で付着した部分を洗浄してください。
 - ▶ 眼に入ったときは、大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
 - ブロワーのイグニッションシステムは、火花を発生します。引火や爆発が起きやすい環境下では、エンジン外部の火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ スパークプラグは、本取扱説明書に従って使用してください。
 - ▶ スパークプラグを差し込み、確実に締め付けます。
 - ▶ スパークプラグターミナルを接続し、確実に押し込みます。
 - 不適切なガソリンまたは不適切な 2 ストロークエンジンオイルから成る混合燃料を使用するか、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合比率が不適切な混合燃料を使用すると、ブロワーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ 燃料は、本取扱説明書に従って混合してください。
 - ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料は、長期にわたって保管すると分離するか、劣化することがあります。分離した混合燃料を使用すると、ブロワーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ ブロワーに給油する前に、燃料を十分に混合してください。
 - ▶ 混合してから 30 日以内のガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください (STIHL MotoMix の場合は、5 年以内に使用してください)。
- ▶ 肩の高さ以上で作業を行わないでください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。高所で作業を行う必要がある場合は、昇降式の移動作業台または安定した足場を使用してください。
 - ▶ 疲労を感じたときは、休憩を取ってください。
 - ▶ ブロワーは追い風になる方向に向けて使用してください。
- エンジン作動中は排気ガスが排出されます。排気ガスは、吸い込むと有害です。
 - ▶ 排気ガスは吸い込まないでください。
 - ▶ ブロワーは換気の良い場所で使用してください。
 - ▶ 吐き気、頭痛、視覚障害、聴覚障害、めまいが生じた場合、作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより人や動物が負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 噴気を人、ペット、器物に向けないでください。



4.8 作業時

▲ 警告

- エンジンを適切な方法で始動しないと、使用者がブロワーの制御を失うことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 取扱説明書に従ってエンジンを始動してください。
- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなることがあります。それによりつまずいたり、転倒したり、重傷を負ったりするおそれがあります。
 - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合、ブロワーを使用しないでください。
 - ▶ ブロワーは一人で操作してください。
- エンジン作動中にイヤープロテクターを着用している場合、音が聞こえにくくなります。
 - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
- 作業中にブロワーの挙動が変化したか、異常が感じられた場合は、ブロワーは危険な状態になっているおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 作業を中止し、STIHL サービス店に連絡してください。
- 使用中にブロワーが振動することがあります。
 - ▶ 休憩を取ってください。
 - ▶ 血行障害の兆候が現れた場合、医師の診察を受けてください。
- 巻き上げられた粉塵によってブロワーが静電気を帯びることがあります。特定の条件下 (例えば乾燥した環境下) では、ブロワーが突然放電し、火花が発生することがあります。引火や爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。
- 緊急時は使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

4.9 運搬

▲ 警告

- ブローワーは、輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、ブローワーを固定ストラップ、ベルトまたはネットで固定します。
- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっている場合があります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ ブローワーを背負います。

4.10 保管

▲ 警告

- 子供はブローワーの危険の認識や認知ができず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ ブローワーは子供の手の届かない場所に保管してください。
- 水分によってブローワーの電気接点と金属部品が腐食することがあります。ブローワーが損傷するおそれがあります。
 - ▶ ブローワーは清潔かつ乾燥した状態で保管してください。

4.11 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、または修理時にエンジンを作動させておくと、ブローワーが偶発的に作動し始めるおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ エンジンを切ります。
 - ▶ スパークプラグターミナルを抜き取ります。
- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっている場合があります。それにより火傷を負うおそれがあります。
 - ▶ マフラーとエンジンが冷えるまで待ちます。
- 強力な洗剤、高圧洗浄機、または尖った物体を使用して清掃すると、ブローワーが損傷するおそれがあります。ブローワーを本取扱説明書に従って清掃しないと、部品が適切に機能しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。人は深刻な負傷を負う可能性があります。
 - ▶ ブローワーは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- ブローワーを本書に従って整備しないと、部品が正常に機能しなくなるか、安全装置が働かなく

なるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ この取扱説明書に記載されたとおりに、送風機を点検または修理する。

5 ブローワーの運転のための準備

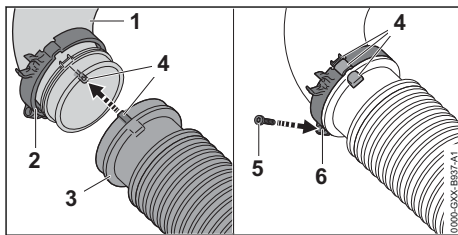
5.1 ブローワーの使用準備

次の手順に従ってから作業を開始してください：

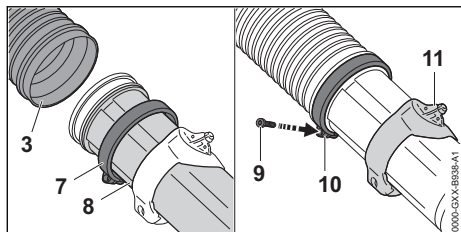
- ▶ ブローワーが安全な状態にあるか確認します、**図 4.6**。
- ▶ ブローワーを掃除します、**図 15.1**。
- ▶ ブローワーチューブを取り付けます、**図 6.1**。
- ▶ コントロールハンドルを取り付けます、**図 6.2**。
- ▶ ノズルを取り付けます、**図 6.3**。
- ▶ ブローワーに給油します、**図 8.2**。
- ▶ バックパックを装着します、**図 7.1**。
- ▶ コントロールハンドルを調整します、**図 7.3**。
- ▶ ブローワーチューブを調整します、**図 7.4**。
- ▶ 操作部を点検します、**図 10.1**。
- ▶ 上記の作業を行うことができない場合は、ブローワーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。

6 ブローワーの組み立て

6.1 ブローワーチューブの取付け

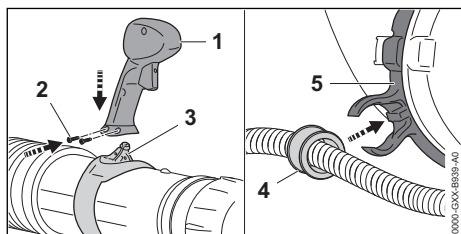


- ▶ 「スロットルケーブルホルダー付きクランプ」(2)をマニホルド(1)にスライドさせます。
- ▶ 波形ホース(3)をマニホルド(1)にスライドさせて、マーキング(4)の位置を合わせます。
 - コルゲートホース(3)はマニホルド(1)と同じ高さです。
- ▶ 「スロットルケーブルホルダー付きクランプ」(2)をマニホルド(1)とコルゲートホース(3)の上にスライドさせて、マーキング(4)の位置を合わせ、スクリューアイ(6)が下を向くようにします。
- ▶ スクリュー(5)を差し込み、しっかりと締め付けます。



- ▶ クランプ (6) をブローアチューブ (7) に押し込みます。
- ▶ ブローアチューブ (7) をコルゲートホース (3) の奥まで押し込みます。
- ▶ コントロールハンドルのレセプタクル (10) が上を向くように、ブローアチューブ (7) の位置を合わせます。
- ▶ クランプ (6) をコルゲートホース (3) の奥まで押し込み、スクリーアイ (9) が下を向くように位置合わせします。
- ▶ スクリュー (8) を差し込み、しっかりと締め付けます。

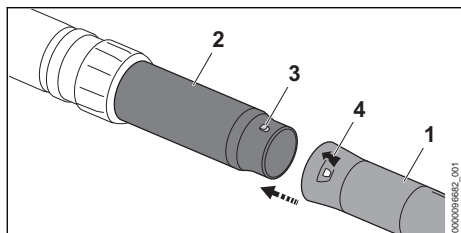
6.2 コントロールハンドルの取り付け



- ▶ コントロールハンドル (1) をマウント (3) に押し込みます。
- ▶ スクリュー (2) を挿入し、しっかりと締め付けます。
- ▶ プッシング (4) をスロットルケーブルホルダー (5) に押し込みます。
プッシングはカチッという音がします。

6.3 ノズルの取り付けと取り外し

- ▶ エンジンを切ります。



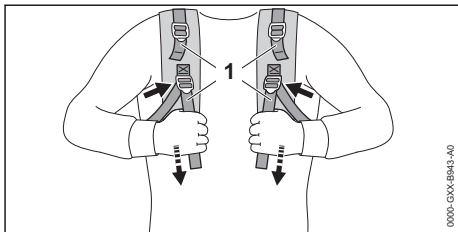
- ▶ ピン (3) を穴 (4) に合わせます。

- ▶ ノズル (1) を押し、ブローアチューブ (2) に取り付けます。
- ▶ かみ合うまでノズル (1) を回転させます。ノズルを再び取り外す必要はありません。

7 使用者に合わせたブローアの調整

7.1 キャリングシステムの装着と調整

- ▶ ブローアを背負います。

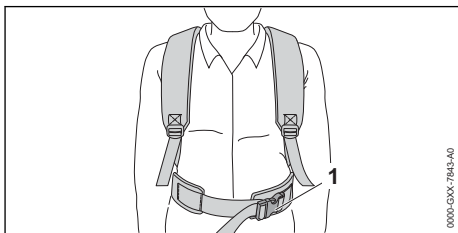


- ▶ ストラップ (1) を調整し、バックパッドを背中に密着させます。

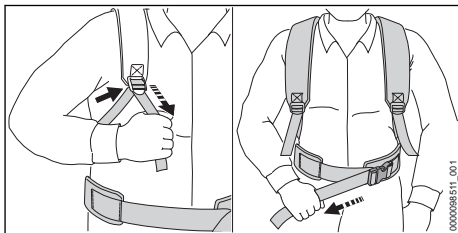
腰ベルトの装着と調整

市場によっては、腰ベルトは付属品に含まれていません。

- ▶ ブローアを背負います。



- ▶ 腰ベルトのバックル (1) を閉じます。



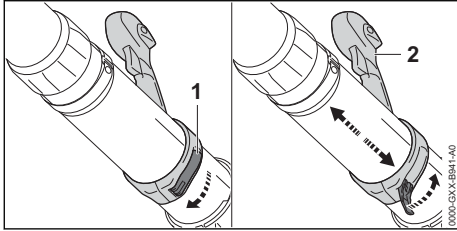
- ▶ 腰ベルトが腰にたるみなく接触し、バックパッドが背中に密着するまでストラップを締め付けます。

7.2 キャリングシステムを降ろす

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ ベルトを緩めます。

- ▶ 装着されている場合は、腰ベルトのバックルを外します。
- ▶ ブローを背中から降ろします。

7.3 コントロールハンドルの調整

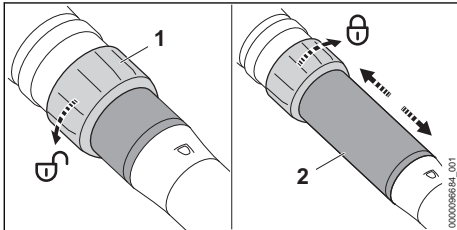


- ▶ クイックリリース (1) を開きます。
- ▶ コントロールハンドル (2) を必要な位置にスライドさせます。
- ▶ クイックリリース (1) を閉じます。クイックリリースは、カチッという音で所定の位置に固定されます。

7.4 ブローチューブの調整

ノズルは、使用者の身長や作業状況に応じて連続的に調整できます。

- ▶ エンジンを切りめます。



- ▶ ユニオンナット (1) を⌚の方向に半回転させます。
- ▶ ブローチューブ (2) を必要な長さに調整します。
- ▶ ユニオンナット (1) を⌚の方向に止まるまで回転させます。

8 燃料の混合とブローへの給油

8.1 燃料の混合

本ブローには、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルを 50 : 1 の比率で混合した混合燃料が必要です。

STIHL 社では STIHL MotoMix(モトミックス) の使用をお勧めしています。

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、

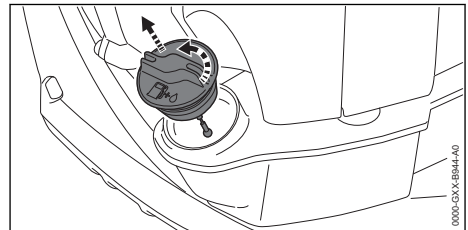
JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

- ▶ ガソリンのオクタン価が 90 RON 以上で、エタノール濃度が 10% 以下 (ブラジルでは 27% 以下) のガソリンを使用してください。
- ▶ 使用する 2 ストロークエンジンオイルが要件を満たしているか確認してください。
- ▶ 燃料の必要量に応じて、50 : 1 の混合比でガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの適正量を割り出します。混合燃料の例：
 - 20 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 1 L のガソリン
 - 60 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 3 L のガソリン
 - 100 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 5 L のガソリン
- ▶ 承認された清潔な燃料容器にまず 2 ストロークエンジンオイルを入れ、次にガソリンを加えます。
- ▶ 燃料を補充する前に混合する。

8.2 ブローへの給油

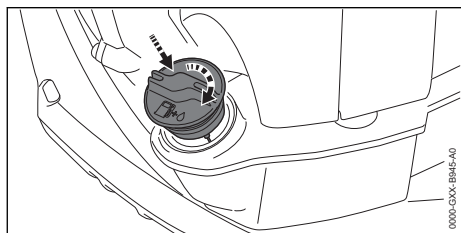
- ▶ エンジンを切りめます。
- ▶ 燃料タンクキャップが上を向くようにブローを平らな面に置きます。
- ▶ 湿らせた布で燃料タンクキャップとその周囲を掃除します。



- ▶ 取り外しが可能な状態になるまでタンクキャップを反時計回りにまわします。
- ▶ 燃料タンクキャップを取り外します。

注記

- 照明や直射日光を当てたり、極端な温度にさらしたりすると、燃料の分離や劣化が加速することがあります。分離したり古くなった混合燃料を使用すると、送風機が破損することがあります。
 - ▶ 燃料を補充する前に混合する。
 - ▶ 30 日以上 (STIHL MotoMix の場合は 5 年以上) 保管した混合燃料は使用しないでください。
- ▶ 給油時は燃料をこぼさないよう注意し、燃料の液面とタンク上端の間に 15 mm 以上の隙間を確保してください。





- ▶ タンク開口部に燃料タンクキャップを載せませす。
- ▶ タンクキャップを時計回りにまわし、手で確実に締め付けます。
燃料タンクが密閉されます。

9 エンジンの始動と停止

9.1 適切な始動手順の選択


エンジンに始動準備が必要になる状況は？

以下の条件が満たされているときは、エンジンの始動準備を行う必要があります：

- エンジンが周囲温度の場合。
- ▶ エンジンの始動準備を行い、 9.2 エンジンを始動させる、 9.3。

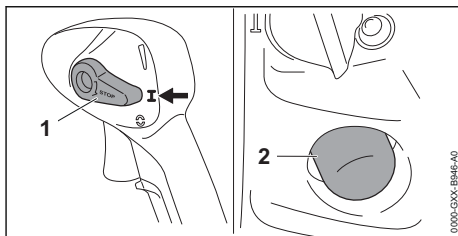
始動準備なしにエンジンを始動できる状況は？

以下の条件が満たされているときは、始動準備なしにエンジンを始動できます：

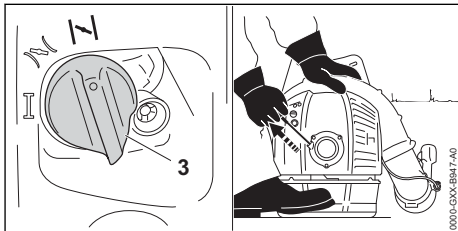
- 1 分以上運転し、短時間の休憩を取るためだけにエンジンを切った場合。
- 初回加速時にエンジンがストールした場合。
- 燃料タンクが空になったためエンジンがストールした場合。
- ▶ エンジンを始動します、 9.3。

9.2 エンジンの始動準備

- ▶ 適切な始動手順を選択します。
- ▶ ブロワーを平坦な面に置きます。



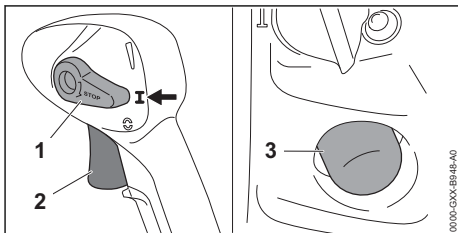
- ▶ マスターコントロールレバー (1) を **I** の位置へ動かします。
- ▶ 手動燃料ポンプ (2) を 6 回以上押します。



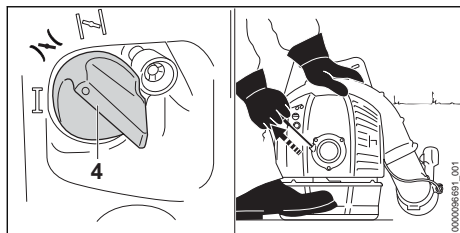
- ▶ チョークレバー (3) を **N** の位置に動かします。
- ▶ 左手をエンジンに載せてブロワーを地面に押し付け、ベースプレートに右足を載せます。
- ▶ がみ合った感じがするまで、右手でスターターグリップをゆっくりと引きます。
- ▶ エンジンが初爆し、停止するまでスターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む動作を数回繰り返します。

9.3 エンジンの始動

- ▶ 適切な始動手順を選択します。
- ▶ ブロワーを平坦な面に置き、ブローパイプを床面に載せます。

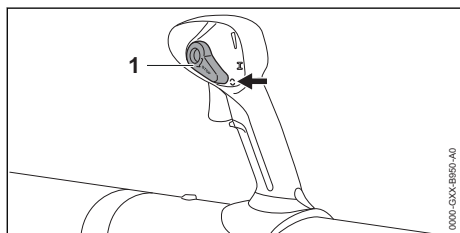


- ▶ マスターコントロールレバー (1) を **I** の位置へ動かします。
- ▶ 手動燃料ポンプ (3) を 6 回以上押します。



- ▶ チョークレバー (4) を **I** の位置に動かします。
- ▶ 左手をエンジンに載せてブローワーを地面に押し付け、ベースプレートに右足を載せます。
- ▶ かみ合った感じがするまで、右手でスターターグリップをゆっくりと引きます。
- ▶ エンジンが始動するまで、スターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む動作を数回繰り返します。
- ▶ スロットルトリガー (2) を軽く握ります。
 チョークレバー (4) が **I** の位置に戻ります。エンジンがアイドリング回転数で作動します。

9.4 エンジンを切ります。



- ▶ マスターコントロールレバー (1) を **O** の位置へ動かします。
 エンジンが停止し、マスターコントロールレバー (1) が **I** の位置に戻ります。
- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを **I** の位置に動かします。
 エンジンが停止します。
 - ▶ ブローワーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
 マスターコントロールレバーが故障しています。

10 ブローワーの点検

10.1 操作部の点検

エンジンを切ります。

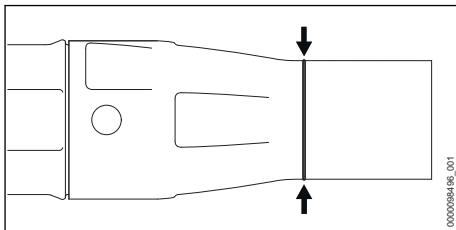
- ▶ エンジンの始動
- ▶ マスターコントロールレバーを **O** の位置に動かします。
 エンジンが停止します。
- ▶ エンジンが停止しない場合：
 - ▶ チョークレバーを **I** の位置に動かします。

エンジンが停止します。

- ▶ ブローワーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
 マスターコントロールレバーが故障しています。

10.2 ノズルの点検

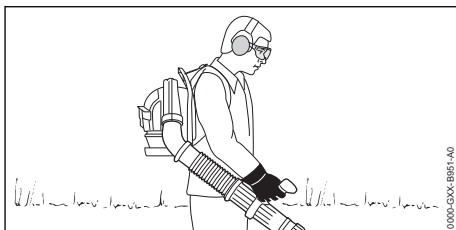
- ▶ エンジンを切ります。



- ▶ ブローワーチューブの摩耗マークが見えるかどうか点検します。
- ▶ ブローワーチューブの摩耗マークが見えない場合、ブローワーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

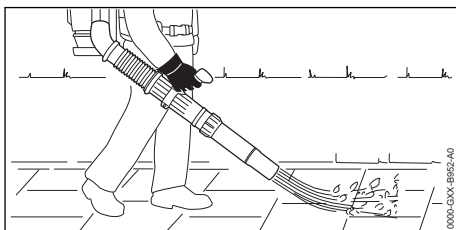
11 ブローワーの運転

11.1 ブローワーの保持と取り回し



- ▶ ブローワーを背負います。
- ▶ 右手でコントロールハンドルを握ってブローワーを保持します。親指をコントロールハンドルにかけてください。

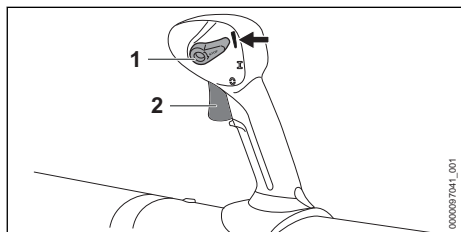
11.2 ブローワーの使用法



- ▶ ノズルを地面に向けます。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。

11.3 パワーロックの有効化と無効化

マスターコントロールレバーを使用して、任意のプロウカを継続的にロックできます。



- ▶ エンジンを始動します。
- ▶ トリガー (2) を使用してプロウカを調整します。
- ▶ マスターコントロールレバー (1) を上に押しします。
これにより、プロウカがその位置にロックされます。

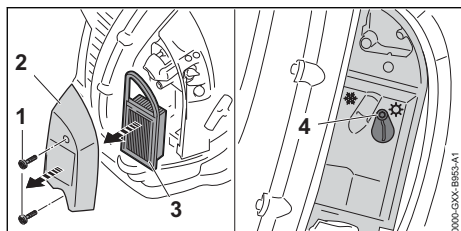
ロックガスを無効にするには：マスターコントロールレバー (1) を元の位置に戻します I。

11.4 冬季モードの設定方法

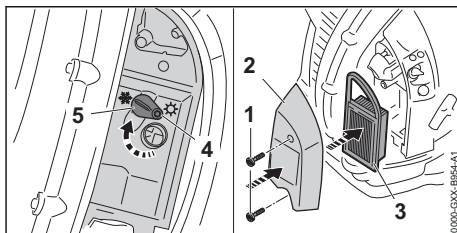
+10°C以下の温度でエンジンを作動させると、キャブレターが凍結することがあります。キャブレターがエンジン周囲の暖気によってさらに暖められるよう、シャッターを冬季モード*に設定してください。

注記

- +10°Cを超える温度下でエンジンを冬季モードで使用すると、エンジンがオーバーヒートすることがあります*。
▶ 設定を夏季モード*に変更してください。
- ▶ エンジンを切ります。



- ▶ スクリュー (1) を取り外します。
- ▶ フィルターカバー (2) とエアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ エアフィルター (3) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ スクリュー (4) を緩めます。



- ▶ フラップ (5) を冬季モードの位置*にセットします。
- ▶ スクリュー (4) を完全に締め付けます。
- ▶ エアフィルター (3) を差し込み、フィルターカバー (2) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (1) を挿入し、締め付けます。

12 作業後

12.1 作業終了時

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ プロウが冷めるまで待ちます。
- ▶ プロウが濡れた場合は、プロウを乾かします。
- ▶ プロウを掃除します。

13 運搬

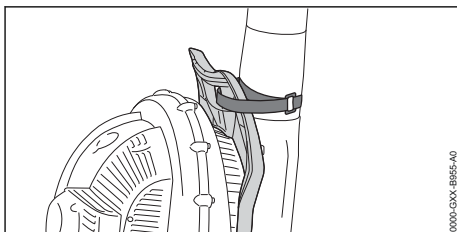
13.1 プロウの運搬

- ▶ エンジンを切ります。

プロウの持ち運び

- ▶ プロウを背負い、右手で操作ハンドルを保持して運搬するか、ハンドルを保持して運搬します。

プロウの車両輸送：

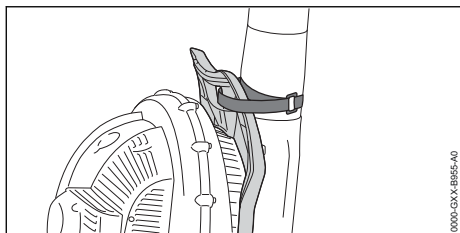


- ▶ プロウをベルクロストラップでバックプレートのハンドルに取り付けます。
- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう、直立させてプロウを固定してください。

14 保管

14.1 プロウの保管

- ▶ エンジンを切ります。



- ▶ ブローワーをベルクロストラップでバックプレートのハンドルに取り付けます。
- ▶ ブローワーは、次の条件を満たすように保管してください：
 - ブローワーを子供の手の届かない場所に保管する。
 - ブローワーを清潔で乾燥した状態にする。
- ▶ ブロアを 30 日以上保管する場合
 - ▶ 燃料タンクキャップを開けます。
 - ▶ 燃料タンクを空にします。
 - ▶ 燃料タンクキャップを閉めます。
 - ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合は、手動燃料ポンプを 5 回以上押します。
 - ▶ エンジンを始動し、停止するまでアイドリングさせます。

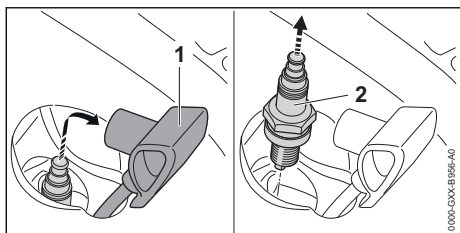
15 清掃

15.1 ブローワーの清掃

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ ブローワーが冷めるまで待ちます。
- ▶ 濡らせた布でブローワーを掃除します。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。
- ▶ シールドを塗装用のはけや柔らかいブラシで掃除します。

15.2 スパークプラグの清掃

- ▶ エンジンを切ります。
- ▶ ブローワーが冷めるまで待ちます。



- ▶ スパークプラグターミナル (1) を引き抜きます。

18 トラブルシューティング

18.1 ブローワーのトラブルシューティング

大半の不具合は、原因が同一の場合があります。

- ▶ スパークプラグ (2) 周辺が汚れている場合は、布でスパークプラグ (2) 周辺を清掃してください。
- ▶ スパークプラグ (2) を取り外します。
- ▶ スパークプラグ (2) を布で掃除します。
- ▶ スパークプラグ (2) が腐食している場合は、新しいスパークプラグ (2) を取り付けてください。
- ▶ スパークプラグ (2) を取り付け、確実に締め付けます。
- ▶ スパークプラグターミナル (1) を奥まで押し込みます。

16 整備

16.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

エンジンの出力が低下しているか、始動に大きな力が必要なときは

- ▶ STIHL サービス店にバルブクリアランスの点検と必要に応じた調整を依頼してください。

100 運転時間毎

- ▶ スパークプラグを交換します。

150 運転時間毎

- ▶ STIHL サービス店に燃焼室の清掃を依頼してください。

毎月

- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクの清掃を依頼してください。
- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの清掃を依頼してください。

毎年

- ▶ STIHL サービス店にブローワーの点検を依頼してください。
- ▶ STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディの交換を依頼してください。

17 修理

17.1 ブローワーの修理

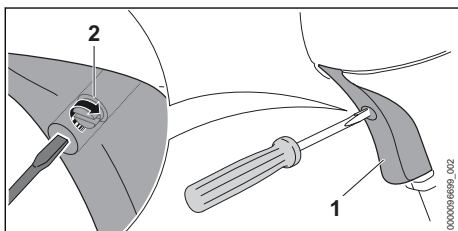
ユーザーがブローワーを修理することはできません。

- ▶ ブローワーが損傷している場合、ブローワーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

- ▶ 以下の措置を行ってください：
 - ▶ エアフィルターを交換します。
 - ▶ スパークプラグを掃除するか、交換します。
 - ▶ ブロワーを冬季または夏季用に調整します。
 - ▶ アイドリング回転数を調整します。
- ▶ 不具合が解消されない場合は、下記の対応策を講じてください。

不具合	原因	処置
エンジンが始動しない	燃料タンクに十分な燃料が入っていない。	▶ 燃料を混合し、ブロワーに給油します。
	キャブレターが過熱している。	▶ ブロワーが冷めるまで待ちます。 ▶ 手動燃料ポンプを 10 回以上押してからエンジンを始動します。
	キャブレターが凍結している。	▶ ブロワーを+10°Cまで暖機します。
エンジンのアイドリングが不安定。	キャブレターが凍結している。	▶ ブロワーを+10°Cまで暖機します。
アイドリング回転中にエンジンがストールする。	キャブレターが凍結している。	▶ ブロワーを+10°Cまで暖機します。
エンジンが最大回転数に達しない。	スロットルケーブルの調整が不適切。	▶ スロットルケーブルを調整してください。

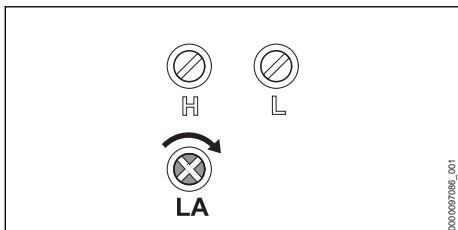
18.2 スロットルケーブルの調整



- ▶ スロットルトリガー (1) を握り、そのまま保持します。
- ▶ 抵抗が感じられるまでスクリー (2) を時計回りにまわします。
- ▶ ネジ (2) を時計回りにもう半回転させます。

18.3 アイドリング回転数の調整

- ▶ エンジンの始動
- ▶ スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。



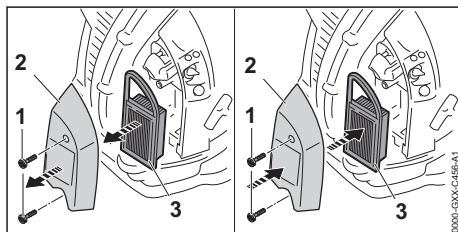
アイドリング時にエンジンが不安定になるか、ストールする場合

- ▶ エンジンが滑らかに回転するようになるまで、アイドリング回転数調整スクリュー (LA) を時計回りにゆっくりまわします。

18.4 エアフィルターの交換

エアフィルターは清掃できません。損傷したり、エンジン出力が低下したりした場合は、エアフィルターを交換してください。

- ▶ エンジンを持ちます。



- ▶ スクリュー (1) を取り外します。
- ▶ フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▶ エアフィルター (3) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ エアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ 新しいエアフィルター (3) を差し込み、フィルターカバー (2) を再取り付けします。
- ▶ スクリュー (1) を挿入し、締め付けます。

19 技術仕様

19.1 STIHL BGA 700 プロワー

- 排気量：64.8 cm³
- ISO 8893 へのエンジン出力：7,200rpm で 2.8kW (3.8 bhp)
- ISO 11681 に準拠したアイドリング回転数：2,500 ± 50 rpm-1
- 承認されているスパークプラグ：
 - NGK CMR6H (STIHL 供給)
 - STIHL の BoschUSR 4AC
- スパークプラグの電極ギャップ：0.5 mm
- 吹き出し力：35 N
- 最大風速：88 m/s
- 風速 74 m/s
- 最大風量 (プロワーチューブアッセンブリなし)：1,860 m³/h
- 風量：1,550 m³/h
- 重量：10.9 kg
- 燃料タンク容量：1,400 cc (1.4 l)

19.2 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s² です。

STIHL 社は、イヤーマフの着用をお勧めしています。

- ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{peq}：101 dB(A).
- DIN EN ISO 22868 に準拠して測定した音響出力レベル L_{weq}：109 dB(A).
- DIN EN ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル ahv, eq
 - コントロールハンドル：2.5 m/s²

振動に関する事業主への指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

19.3 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味しません。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

19.4 排気ガス

欧州連合の型式承認手続きで測定された CO₂ 値は、製品別技術データで www.stihl.com/co2 に明記されています。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定

のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。型式認定は、エンジンを改造すると無効になります。

20 スペアパーツおよびアクセサリ

20.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可していません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

21 廃棄

21.1 プロワーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

22 EC 適合証明書

22.1 STIHL BR 700 プロワー

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 型式：プロワー
- メーカー：STIHL
- 型式：BR 700
- 機械番号：4282

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、および 2000/14/EC の仕様に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、および EN 61000-6-1

音響出力レベルの測定値と保証値は、2000/14/EC の補遺条項 V 規定に準拠しています。

- 音響出力レベル測定値：107 dB(A)
- 音響出力レベル保証値：109 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG Produktzulassung

製造年と機械番号は、プロワーに表示されています。

Waiblingen, 15.07.2021

ANDREAS STIHL AG & Co. KG



代理人

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

23 UKCA 適合宣言

23.1 STIHL BR 700 プロワー



ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen
Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 型式：プロワー
- メーカー：STIHL
- 型式：BR 700
- シリーズ番号：4282

英国の規制である The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 と Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合し、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して製造されたことを保証いたします - EN ISO 12100, EN 15503, EN 55012, EN 61000-6-1。

音響出力レベルは、測定値と確保数値共に英国の規制 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001, Schedule 8 に基づいています。

- 音響出力レベル測定値：107 dB(A)
- 音響出力レベル保証値：109 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG.

製造年と機械番号は、プロワーに表示されています。

Waiblingen, 15.07.2021

ANDREAS STIHL AG & Co. KG



代理人

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

www.stihl.com



0458-459-4321-D



0458-459-4321-D